

第59回技能五輪全国大会・造園職種について

1. はじめに

これまで大きな挑戦をする機会がなかったので学生時代の最後に、技能五輪全国大会に挑戦しようと思い大会を目指した。また、この大会での経験がこれからの自信に繋がればと思った。

2. 出場の目的

この大会では、最後まで自分で練習してきたことを信じて頑張りたいと思った。また、作業の進め方を考えることや今までに行ったことのない作業をすることで技術の向上を図りたいと思った。

3. 出場に向けた課題練習について

6月7日から7月21日までに、16回の練習をした。最初の野面石積みは、レンガ積みのような形になり目地が通ってしまった。その後、様々な方の指導と練習により本来の野面積みに近づいた。7月12日からは、過去の協議課題での練習を行った。この課題では、野面積み、園路の敷石と小舗石を据える練習をした。

課題発表後は、11月25日から各工種の部分練習を1回、12月4日から12月14日まで通し練習を4回行った。

4. 結果およびまとめ

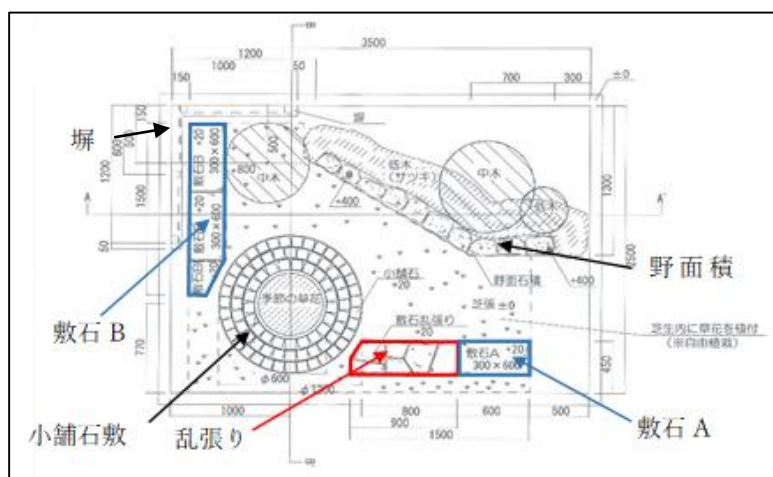
競技1日目は、野面積みから塀の部材の切り出しまで行えた。

野面積みでは、割る作業をせずに石の面を見て積むことで速く積むことが出来た。しかし、石積み全体を見ると目地に少し隙間があった。

小舗石敷では、練習の通りに作業を進めることが出来た。それでも、奥と手前で高さが少し違うような出来になってしまった。

敷石Aでは、丁張をかけるときに小舗石の上を通して練習していたが、小舗石を少し高く据えてしまったため、丁張の高さが変わってしまうので小舗石の手前に設置した。平板石は、練習の通りに据えることができた。

石張りでは、平板石を割る際に綺麗に割れるかが心配だったが、綺麗に割れた。また、割石を据えるときに一旦地面を平らに



圖—1 課題平面圖

してゴムハンマーと水平器で据えた。しかし、据えた後には柱の口を脛でこすんだ気がし

た。2日目に行く塀の部材の切り出しを行うことが出来た。これで、2日目の時間が少しは短縮が出来た。

競技2日目は、塀から片付けまで行った。

塀は、組み立てから始めた。練習の通りに組み立てをした。また、組み立て途中で部材の取り方を間違えたものが2つあった。それでも、時間がなかったのでそのまま進めた。次に、据え付けを練習の通りに行った。しかし、右の塀を埋め穴に入れるとL字金具が枠に当たらずに浮いてしまった。そこで、L字金具を取りドリルで付け直した。だが、左の塀と合わなくなってしまった。

敷石Bでは、平板石を割る作業で石張りの残りで済ませようと考えて割っていたが、思うように割れず最後の平板石を割って据えた。

植栽では、小舗石敷内の中木が塀の近くの左奥の角から縦 500mm、横 800mm に位置が変わり、始めにこの中木を植栽した。次に、石積みの上に植栽をした。この植栽では、ツツジを石積みの左右にも植栽する位置を図面でしっかり見ていなかったため、ツツジとツツジの間にツツジを入れ、後ろから砂でおさえる工程に苦勞した。

草花植栽では、あまり練習をしていなかったため、その場でどのように植栽をするかを考え植栽した。そのため、植栽の配植で中心を高くしたかったが上手く出来なかった。

芝生の植え付けでは、時間が迫ってきていたため少し慌てるような感じで張り付けを行った。地均し・整地では、ほとんど時間がなかったため敷石と小舗石敷の表面などの土を取り除くだけしか出来なかった。

片付けでは、時間がなく完全な片付けが出来なかった（写真—1）。

1日目の課題である石積み、敷石A、石張りは練習通りに寸法を出せたが、小舗石敷だけ奥と手前でちに差が出来た。時間内に終わらせて、2日目の塀の部材を切り出し、時間短縮をすることが出来た。2日目の課題であった塀では部材を取り付ける際に、切り方を間違えたものが2つと埋め穴に取り付ける際にL字金具の位置だしに間違いが起きた。また、植栽では位置を間違えずに植栽を行っていたが、後に石積みの上の植栽が図面と違っていることに気が付いた。また、掃除や片付けがおろそかになってしまう面が所々にあった。

練習した成果を出せた面と出せなかった面の両方があったが、この大会に出場出来て最後まで頑張れたことに後悔はないと感じた。また、今までにない良い経験とこれからの自信につながる体験になった。



写真—1 競技終了後